

タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成28年11月20日（日）午後2時～3時30分

場 所 鶴ヶ岡分館（東久保町会）

参加者 30人



主な意見等

参加者 久しぶりにタウンミーティングに参加しました。休みの日やいろいろな場所で開催していただき、また、市幹部の参加もありがたいと思います。上がってきた意見はどのように市政に反映しているのでしょうか。

また、ふじみ野市の人口は将来的に減っていくと予想されています。市の収益を上げていくために、企業誘致が必要ではないかと思いますが、どのように考えていますか。

県内を見ると西部地区には県の施設が少ないように感じます。西部地域にも県の会議等が開催できる施設を誘致していただければと思いますがいかがでしょうか。

図書館など指定管理の実施により、サービスが向上しているところが非常に多いと思いますが、どう考えていますか。

最後に、子どもたちがボール遊びを出来る公園の設置を考えてほしいです。

市長 今年度は、タウンミーティングを1年間で57箇所行う予定となっています。いただいた意見は速やかに担当課へ振り分け、検討し対応を図っています。対応をすぐにできないものについては、今後どうやったら改善ができるかということを皆で対応しています。タウンミーティングは市民の方がどのように考えているのか直接知るよい機会であり、市民の方が間違った認識がある場合の伝え方や担

当事務を執行する上での参考となるよう、職員の積極的参加を呼び掛けています。いただいた意見はスピーディーに対応するようにしています。なお、本日、答えられないことにつきましては、後日回答する形を採っています。

人口については、人口ビジョンにおいて平成42年までは増加傾向と推計しています。ふじみ野市は、全体を通して昭和40年代頃に住まわれた方が多いです。その方の孫世代が成人する頃となっています。世代が入れ替わり、新たな住宅地の転換を迎えており、減少を迎える推計のもっと先まで、人口が増え続ける可能性が秘められていると思っています。こうしたことから、私も企業誘致を進めるべきであると考えており、現在、254バイパス沿いの田園地域の検討を進めています。国の減反政策もあり、耕作機械も高額で、農業を事業としてやっていくのは難しくなっている現状があります。都市近郊農業の土地活用の方法を考えていかなければなりません。企業誘致を図り自主財源の確保や雇用の創出を図っていきたいと思います。業務代行による区画整理の手法を取り実施していきたいと考えていますが、国も農業を守っていくということを主に展開しており、農業振興地域の指定解除が複雑です。この事業を北から南まで同一政策で進めていくのは難しいと感じておりますが、実現していきたいと思っています。

私も西部地域には県の施設が少ないと感じており、できればいいと思っています。

指定管理者制度の導入については、上福岡図書館の実施時に反対がありましたが、導入したことで大井図書館も開館時間等を延長することができ、市民サービスの向上につながっています。公共施設の管理運営については、ノウハウや専門知識のある民間企業に実施してもらうことで、市民サービスの向上にもつながり、メリットも大きいです。一定規模の施設であれば企業にもメリットがあり、指定管理者制度への参加を促すことができるため、小さい規模の施設であっても同様の施設などを一括で行うなどの方法をとれば、企業にもメリットが出るのではないかと考えています。

公園でのボール遊びについては、確かにそういう場所がなくなってきました。学校の校庭をもう少し有効活用できるのではないかと感じています。私も学校訪問に伺った時に、子ども達からも直接言われました。公園でのボール遊びに対し、反対する市民の方々の声が強くなった時期があり、そうなってしまった経緯があります。

小さい子がいたら譲り合って使っていくなど、方法はあるのではないかと感じています。市役所も市民からの声が上がると何でも禁止してしまってきた反省もあります。皆でうまく使う方法を考えていくことが重要で、皆さんと一緒に考え、見直していきたいと思っています。放課後の校庭の利用については、校庭での事故は学校の責任となってしまうといったことから、中々難しい点がありますが、子どもがのびのび遊べる環境を整えていくことが必要で、教育長とも学校施設の活用について話をしているところです。

参加者 エコパを利用していますが、健康維持のために循環バスの増便をお願いします。

市長 エコパについては、有料化を考えていました。施設オープン前に太陽の家という老人センターを先に壊さなければならなかったために、無料という形を採らざるを得ませんでした。市民の方からも、施設を皆で維持していくために、無料というのは止めた方がいいということも良く言われているところです。施設へのアクセスについては、もう少し通いやすくしたいと考えています。すぐには対応できませんが、検討したいと思います。

参加者 学校のトイレ改修ありがとうございます。このあたりの地域は、学区が入り組んでいます。以前は学校を選べたと聞いていますが、近所の子で同じ学校と一緒にいく子がいなくなってしまうということも起きています。学校を選べるようにできないでしょうか。

市長 近いうちに学区の見直しをしていかななくてはいけない時期が来ると思っています。しかし、学区の見直しは大変な作業です。このあたりの学区は合併前の住所が基準となっており、とても入り組んでいます。合併で行政境は無くなったため、合併当初は緩和措置を実施していました。現在は特例として、上の子が通っていれば下の子もその学校へ行くことができますが、初めての子は特例がありません。学区を見直す際、境界設定が非常に難しいです。子どもの増加傾向も予測しなければなりません。上野台小も大規模な住宅開発があり、プレハブ対応となります。一方で西原小は児童数が減ってきて

ています。市全体の学区の見直しをしていかないといけません。再編にあたっては、住所や距離などを考慮しなければなりません。いつからかという変更の時期も様々な市民の方の思いがあり難しいです。私もかつて子どものPTA会長をしていた母校でもある第2小の廃校について、市のためであればということで苦渋の決断を下し、賛成しました。今回のように大規模な再開発があると、人口構成も変わってしまうこともあるので、児童・生徒数の将来推計を見据え、皆さんの意見も良く伺い、ご理解、ご協力をいただきながら慎重に進めていく必要があります。まちのために、子どもや孫、もっと先の将来の子どもたちのために、私たちが一丸となって見直すべきことは見直していかなければならないと感じています。貴重なご意見ありがとうございました。

参加者 防災倉庫を東久保公園に建てました。バリケードに鍵が掛かっており、資機材の出し入れなどが大変です。発災時に迅速に対応ができないので、江川緑道のバリケードの鍵も含めスペアキーを会長に預けてもらえないでしょうか。市民からの提案について耳を傾け、改善していくという、職員の意識改革もお願いしたいと思います。

市長 ルールを決めれば、可能であると思います。江川緑道のバリカーも同様です。市民からの声は、私の代わりに聞いているという意識を持って対応してくれと幹部職員には話しています。

参加者 江川緑道の電柱の設置工事で重機を入れたために路面が波うっており、夜間の歩行でつまずいたりして危ないので直して欲しいです。

市長 こういった情報は、市民からいただけないとなかなかわからない情報でありがたいです。後ほど場所を教えていただき、確認し対処したいと思います。

参加者 第3ライオンズマンションの北側の道路側溝の蓋の上を車が通ると音がしてうるさいです。一度直してもらいましたが、また音が出始めましたので市で直してもらえないでしょうか。

市 長 後ほど場所を教えてください、確認し対処したいと思います。

参加者 川越街道の地蔵院の押しボタンから春乃家までの道が、道幅は狭いが抜け道となっており、スピードを出して車が通行するので危険です。一方通行にするとか、路面に凹凸を設置するなど検討してもらえないでしょうか。

市 長 一方通行になると、通行量が増え、かえってスピードを出し過ぎるといった傾向もあります。路面の凹凸設置については、富士見市で設置しましたが、その後除去した経緯もあります。対応策を検討したいと思います。